

木材ジャーナル 名古屋・せぶ

令和元年5月号 No.144

名古屋木材組合
名古屋港木材産業協同組合

平成31年度模範従業員・優良自動車運転者表彰式開催

平成31年4月19日（金）午前10時より名古屋木材会館において、木材業界に永年勤務され、他の模範となる名古屋木材組合員各社従業員の方々に対する表彰式が開催された。

尾之内裕三文化厚生委員長の司会進行のもと、西垣洋一組合長の主催者挨拶の後、名古屋市長表彰、名古屋木材組合長表彰が行われ、賞状及び記念品が手渡された。

その後、市長（代理 市民経済局 古田あゆみ産業企画係長）からの祝辞が述べられ、受賞者を代表して野口剛弘氏（株山西）が謝辞を述べた。

受賞者は次のとおりです。（敬称略）

市長賞(勤続年数30年以上)

- ・野口 剛弘 (株) 山西
- ・岡田 弘之 (株) 山西
- ・益山 正広 (株) 山西

組合長賞(勤続年数15年以上)

- ・飯沼 尚美 上地木材(株)
- ・久保 良治 (株) サンコー
- ・竹内 洋 材惣木材(株)
- ・服部 雅司 フルハシEPO(株)
- ・田中 兵太郎 (株) 山西
- ・首藤 誠一郎 (株) 山西
- ・本多 祐太 (株) 山西
- ・高橋 信一 (株) サンコー
- ・鈴木 順花 (株) サンコー
- ・千種 一右 材惣木材(株)
- ・毛利 茂貴 フルハシEPO(株)
- ・山田 敦彦 (株) 山西
- ・奥村 一平 (株) 山西
- ・武藤 俊喜 (株) 山西
- ・前川 史香 (株) サンコー
- ・長迫 洋一 材惣木材(株)
- ・加藤 伸江 名古屋木材(株)
- ・相澤 孝 丸美産業(株)
- ・浅岡 良紀 (株) 山西
- ・野田 和人 (株) 山西
- ・市川 芳和 (株) 山西



“いま、木に本気” 暮らしに活かそう木の良さを

就任にあたり



名古屋港木材産業協同組合 理事長 服部 伸一
(服部産業株式会社 代表取締役社長)

名古屋港木材産業協同組合は、初代理事長に桐山富治さん、2代目の笠木和雄さん、3代目の鈴木和雄さん、4代目で前理事長の嶺木昌行さんと錚々たる業界のリーダーが業界の発展のためにその役割を務めあげられてきました。

わたくしはこれらの偉大なる皆様にはなかなか及びませんが、組合員の皆様から丁寧にご意見を聞き、理事長としての与えられた職責を果たしてまいり所存でございます。

木産協の最も基本的な役割とは「会員企業にとっての営業、流通、生産の拠点である西部港木材団地の利用価値を維持し、高めていくこと」だと認識しています。

交通の便、環境、治安などに問題があれば職場環境が原因で人材の確保は難しくなり、延いては資産価値も目減りしてしまいます。今後、名古屋港管理組合や飛鳥村をはじめとする周辺市町村に整備や対策のお願いを行ってまいります。

さて、日本経済は戦後最長の景気拡大が続いていると政府が発表しているのにも関わらず、個人や企業に好景気の実感が伴わないといわれます。その理由の一つは、グローバル化を進める輸出型企業は海外マーケットによる収益が好調ですが、内需（国内消費）には力強さが感じられないからではないでしょうか。西部港木材団地が完成した高度成長時代とは違い人口が減少している現在において物があれば売れていくはずはありません。主に住宅用途として使用される木材製品も典型的な内需型の製品で、供給過多になりがちです。

縮小するマーケットにおいて捨てる身の価格競争に明け暮れないためにも、他の素材に対する木材の優位性を世間に知ってもらい、戸建住宅の構造材に依存しない新しいマーケットの創出が望まれます。

元号も変わり新しい時代の幕開けを感じますが、大量生産、大量消費、大量廃棄の時代から、資源循環型社会へパラダイムシフトが起こりつつある今、木材は社会がそして個人がより豊かになるために有益で不可欠な商品です。木材利用の気運は高まってきており、このチャンスは活かしていかなければなりません。

協同組合運営に対する皆様のご理解ご協力をお願いしまして就任のご挨拶とさせていただきます。

さわやかとーく

ゲスト：内藤 慎亮 名古屋木材青壮年會會長

聞き手：川村 寿男 広報委員長 (名古屋)

「さわやかとーく」のゲストとして名古屋木材青壮年會 (NMS) 平成最後となる31年度會長の内藤慎亮氏をお招きしました。毎年恒例のゲストですが、とくに今年は、6月に迫った全国會員愛知大會で中心的な役割を担う會團の會長として、そのリーダーシップが期待されています。

(聞き手は川村 寿男広報委員長)

— 4月12日の總會で名古屋木材青壯年會の第57代會長に就任されました。一大イベントである全國大會が迫り、準備に忙しいと思います。まず會長就任の抱負からお聞かせください。

内藤 會に入會して12年目になります。歴史と伝統のあるNMSの會長として責任の重さを感じています。社會が大きな変化を続ける中でこの會の伝統を守りながら、継承すべきところはしっかりつなぎ、変えるべきところは変えていこうと思っています。その意味で、會長スローガンは「伝統と進化～魅力あふれるNMSに」としました。いつまでも輝き続けるよう、會の進化を求めたいと思っています。

全國大會も6月21日～22日に迫りました。21年ぶりの名古屋大會です。これまで前年度會長をはじめ実行委員會や會員の皆さんによって全國行脚PRなど、一生懸命準備を進めてきました。2月には木友會の皆さんにも参加してもらい、決起集會を開催しています。現在は全國から名古屋に訪れる約700人の皆さんを、おもてなしの心で迎えられるよう細かいところを詰めている段階です。成功に向けて、一致団結して取り組んでいきます。

—現在の會員数は何人ですか。また年間の活動目標には何を挙げていますか。

内藤 現在の會員は34名で、賛助會員が2名という状況です。業界の状況から會員数の減少が悩みですが、會員確保に努めた成果は出ています。會員の仕事の範囲も木材分野だけに限らず、関連事業に広げている要因もあるでしょうね。會員の年齢層は40歳代が多いですが、新年度には20代、10代、40代の3人の新入會員も予定しています。

全國大會終了後にも現在の盛り上がりのムードが続いていくようにと思っています。私自身もこの會に入ったことにより、自分の仕事以外の知識を得たり家族も含め仲間との深い交流ができ、それまでになかった友情を得ることができました。他の會では得られない貴重な体験をさせてもらってきました。

會の活動は、「木の日」の木育事業や家族を含めた交流事業が中心となりますが、一致団結の精神で、

會員一人一人が活動に参加してもらえるよう努めていきたいと思っています。それによって交流の輪を広げ、魅力ある會としていくことが大切です。ぜひ會員の皆さんには「まず参加」を求めたいと思います。



—木材業界に入る前には、どんな仕事をされていたのでしょうか。

内藤 父の會社に入社したのは平成16年で、28歳で、それまでは建築工務店に勤めていました。建築現場の作業や営業活動もしてきましたので、現在の仕事につながっていると思います。

入社したときには會社は、木材の取り扱いを縮小して不動産仲介や建築設計・施工に事業が移っていましたから、私自身も木材業界との関わりはあまり強くありません。19年に青壯年會に入會した時、木材業界との違いを感じることはありませんでしたね。自然素材を扱い歴史も古く、商売の仕方が違っているように感じました。また業種も製材から流通問屋、小売のほか、特殊な分野も多い。木材を見る目など、長い経験と知識が必要とされる商売だという感じでしたね。一方で木材需要の減少が続き、業界の後継者も減るといった現状には寂しさを感じます。しかし、無垢の木材には五感に感じるものがあり、最近では安らぎや落ち着きを感じる人が多く、木材を愛する人が増えています。木材の素晴らしい点でしょうね。

—好きな言葉はありますか。

内藤 亡くなった樹木希林さんの展示会に飾られた「遊びをせんとや生まれけむ」という言葉に感じ入っています。平安時代末期の言葉だそうです。「遊びに夢中になる子供のように、夢中で生きる」というような意味だとか。人生は楽しくと、希林さんの人柄を偲ぶようで、いい言葉だと思います。

内藤 慎亮氏 (ないとう・しんすけ)

昭和50年4月、名古屋生まれ。43歳。建築工務店に3年ほど勤務した後、平成16年、父君経営の不動産、設計・施工事業を中心にした丸五木材(株) (中区正木)に入社。25年父君急逝のため、38歳で代表取締役就任する。家庭は奥様と高校2年の女子、中学2年の男子、小学校6年の女子に囲まれ、賑やかだ。

掲載記事のミスのご報告とお詫び

先月号に掲載されました清水俊晴氏寄稿の「合縁木縁」で内容が違っておりましたので、お詫びを申し上げます。
 なお、今月号に改めて清水氏寄稿の「合縁木縁」を掲載させていただきます。

◆ 合縁木縁 ◆

「 恵まれた環境に感謝 」

来年から次男が茨城県の高校へ進学することになり、この先、家族5人が一緒に旅行することがかなり困難になるので、3月上旬に最後の家族旅行にグアムへ行ってきました。

ホテルやレストランでは、比較的日本語が通用し、片言の英語でもなんとか楽しめていたのですが、3日目にレンタカーを借りた時のことです。

3日目は長男の運転でグアムをドライブしようと計画し、宿泊しているホテルに受付カウンターがあるレンタカー会社で予約しました。予約時間の10時より少し前の9時40分ぐらいにカウンターへ行ったところ、すでに私の前に2組の方々が待っていました。

多少、前の人たちの手続きに時間が掛かっているのだろう、予約時間の10時過ぎぐらいにはカウンターに座れると思い、待つことにしました。

予約時間の10時を過ぎて、ようやく1組目の手続きが終わり、続いて2組目の手続きへ。日本でレンタカーを借りる感覚からすれば、数分で手続きも終わるだろうと思い、一緒に待っていた長男とドライブコースなどについて話をしていました。

しかし、10分経っても20分経っても呼ばれません。ようやく呼ばれた時、時計はすでに10時50分を指していました。カウンターで手続きを済ませ、指定した車のキーを受け取り、ドライブへ出発と思った矢先、電話で何やらもめている様子。指定した車は在庫が無くなっており別の車になること、別の車庫から移動させるので待つて欲しいと。結局、私たちが乗車できたのは、11時30分ごろでした。

日本でレンタカーを借りる際に、このようなことはまずありません。そして、それが当たり前という感覚を持っていたのも事実です。異国の地で異国の文化、生活習慣においては、日本で普段生活して当たり前と感じていることは、決して当たり前ではなく、いろいろな人の支えで快適に過ごせていることを再認識するよいきっかけになりました。

次回は、(株)マルジン 稲垣 康文氏にお願いします。

名古屋：(株)清水陽介商店 専務取締役 清水俊晴

◆ 広告コーナー

新型 **GENEO** 誕生!

Clean Tech Diesel



トヨタL&F中部株式会社

本社 TEL:052-882-6411
 名港(営) TEL:0567-55-0722
 小牧(営) TEL:0568-77-5365
 高山(営) TEL:0577-33-4020

私たちのプレカットテクノロジーは、
 人と住宅の未来のために
 磨かれています。

Precut & Technology
MIYAGAWA®

宮川工機株式会社

本社 〒441-8019 愛知県豊橋市花田町字中ノ坪53

TEL.(0532)31-1251(代) FAX.(0532)34-1956

東京営業所(本事業所はISO9001:2000認証取得の組織ではありません)

〒135-0016 東京都江東区東陽5丁目15の6

TEL.(03)3647-2140(代) FAX.(03)3647-2184

●資料ご希望の方は、宮川工機(株)営業部まで



発行 名古屋木材組合

発行者 西垣洋一

〒460-0017 名古屋市中区松原2-18-10

TEL <052> 331-9386

FAX <052> 322-3376

【編集】名古屋木材組合広報委員会

発行 名古屋港木材産業協同組合

発行者 服部伸一

〒490-1444 海部郡飛島村木場1-74

TEL <0567> 57-2017

FAX <0567> 57-2018

【編集】名古屋港木材産業協同組合広報委員会